

第2回 八代市総合計画策定審議会会議録（要旨）

開催日時	令和4年1月21日（水） 午前2時00分～午前4時20分
開催場所	千丁コミュニティセンター 大集会室

■ 出席者

策定審議員

会 長	川井 健次	委 員	徳田 武治	委 員	丸山 久美子
副会長	田中 裕一	〃	（代理）松本 章	〃	三栗野 恵美子
委 員	有馬 健一	〃	橋本 剛	〃	山本 一樹
〃	稲田 卓也	〃	東田 倫明	〃	白石 秀寛
〃	植田 浩之	〃	古田 洋二	〃	村岡 正
〃	植村 光一	〃	本田 勉		
〃	古閑 啓子	〃	松本 博昭		（委員）19名

- 資 料 資料1 第2次八代市総合計画第2期基本計画案
 資料2 第2期基本計画案の概要

■公開状況 公開

■傍聴者数 0名

■議事録

【会議内容】

1. 開会
2. 諮問
3. 市長挨拶
4. 会長挨拶
5. 議題
 - (1) 第2回八代市総合計画第2期基本計画（案）について
 - (2) その他
6. 閉会

【発言要旨】

5. 議題
 - (1) 第2回八代市総合計画第2期基本計画（案）について

(事務局)

「資料2 第2期基本計画案の概要」による説明。

●「I 策定にあたって」(p.1~p.18) に関して

(質問1：委員)

作製される計画書では、現状とは違ったデザイン、図が掲載されるということでしょうか。

(回答：事務局)

その通り。(スクリーンにてデザイン案説明)

(質問2：委員)

10ページの「八代市を取り巻く社会情勢」のところであるが、地域経済についてこのようなまとめ方でよいのか。もう少し個別的な書き方が必要ではないか。前回のものを参考にしてもらいたい。

(質問3：委員)

DXに関する記載もあるが、具体的でなくイメージが湧かない。書かれている内容がどう計画に反映されているかわからない。

(回答：事務局)

「八代市を取り巻く社会情勢」については、八代市以外の全体的な情勢を記載しているところである。具体的な課題は、基本計画の中に記載している。ご指摘の件は、検討したい。

●「基本目標1」に関して (p.19~p.53)

(質問4：委員)

SDGSのアイコンを置いて分かりやすくなっている。しかし、目標5の「ジェンダーの平等」については、多く配置されていない。ジェンダーの問題は、町づくりや学校教育、社会教育等幅広くかかわってくるものである。具体的施策は書かれていない場合でも、配置しておくべきではないか。

(回答：事務局)

ジェンダーの平等ということに関わらず、適切に設定したい。

(質問5：委員)

成果指標を設定しているが、当事者の声を反映したものとなっているのかと思う。例えば、子育てしている人の声は反映されているのか。指標については、当事者の意見を反映できるものとしたほうが良いと考える。

(回答：事務局)

市民アンケートに基づく市民指標を優先的に掲載している。活動指標等を活用しているところもあるが、できるだけ成果が見えるように心がけている。

(質問6：委員)

内容によっては、当事者がどう満足しているのかを調べたほうがよいのではないか。施策が当事者に喜ばれているのかというようなことを掘り下げて考えていくと、実施状況が見えるのではと思う。

(回答：事務局)

参考にさせていただく。

(質問7：委員)

アンケートは何人に対して行ったのか。

(回答：事務局)

3000人である。

(質問8：委員)

それでは、項目の一部しかないと思う。この人口の割合からすると、3,000人で良いという概念的な考えかもしれないが、当事者が何人か、どういった答えなのかを把握しないと実態が分からないと思う。興味があるかないかのアンケートだったら良いと思うが、この場合は当事者の満足度を聞くことが必要だと考える。

(回答：事務局)

当事者の声を聞いているものがあるか、またそのための方法はこういったものがあるか、それに基づいた指標の設定等、考えていきたい。

(質問9：委員)

ジェンダーに関してだが、同性婚、夫婦別姓についてお聞きしたい。また、子育て環境の充実について、子どもの貧困対策が記載されていない。子どもの貧困対策計画を作るようになっているが、八代市にはあるのか。

(回答：健康福祉部)

計画は策定していないが、こども未来課において様々な取組を行っている。ご指摘の件については、修正、追加を行いたい。

(質問10：委員)

33 ページ、「地域福祉の推進」について、地域福祉の分野では、高齢者、障がい等様々な分野が関連している。全体を把握するため、関連する計画を記載してもらいたい。また、制約はあると思うが、3 ページにあるように、補足的に全体像がわかるような図をいれると理解しやすくなると思われる。

(回答：事務局)

全体的な体系図については、検討させていただく。

●「基本目標2」について (p. 54 - p. 76)

(質問11：委員)

青少年健全育成についてであるが、他の市では補導センター、補導協議会といった組織がある。八代市でもそういった育成に関わる団体の組織化が必要ではないか。また、適正補導委員の公募の必要性があるのではないか。そうしたことを施策に取り入れてもらいたい。

(回答：市民環境部)

人権政策課において街頭指導、各種事業等を行っている。ご指摘の件については、事務局と検討したい。

(質問12：委員)

54 ページのところ、学校教育について、「授業がわかる」と思っている子どもの割合」という指標があるが、このデータの出典はなにか。信憑性に欠けるものだと感じる。また、個人的な意見であるが、「八代型小・中一貫・連携教育」に貧困対策を加えてもらいたい。それと、今後35人学級となるが、八代では30人学級でもよいのではないか。

(回答：教育部)

データについては、子どもたちに授業が分かるかどうかのアンケートを直接取っている。学校の先生には、子どもたちには率直な意見を書いてもらうよう伝えている。また、本市でも要保護・準要保護制度や特別支援教育就学奨励費等の就学援助を実施し、学用品や通学費等の支援を行っている。30人学級については、現状でも教室が足りないということがある。物理的な問題をクリアするなかで、30人学級を検討したい。

(質問 13：委員)

アンケートについては、実態を反映していないのではないかと感じる。

(委員長)

先ほど指摘があったように成果指標等の数字については、今後十分に検討してもらいたい。

(質問 14：委員)

指導する教職員の数は足りているのか。主要科目以外の科目について、専門に教えられる教員は足りているのか。また、大規模校、小規模校へ適正に教員は配置されているのか。

(回答：教育部)

現状としては、足らせている、というところである。正規職員、臨採を募集している。しかし、教職員の成り手が少ないというのが実情であり、深刻な問題だと感じている。正規職員で行うところを臨採でカバーしているのが実情である。大規模校、小規模校への配置については、規模に応じて対応している。

(質問 15：委員)

少数のところでも専任を付けるべきではないか。

(回答：教育部)

極力正規職員を付けたいと考えている。

●「基本目標 3」について (p. 77~p. 128)

(質問 16：委員)

施策 20「消防力の強化」に関して、消防団員が不足している。地域によっては定年制を強いているところがある。この定年の年齢を引き上げるよう市から各消防団にお願いしてもらいたい。

(回答：総務企画部)

消防団員の確保は重要である。消防団と連携して確保どのようにやっていくか検討したい。

(質問 17：委員)

施策 25「秩序ある土地利用の推進」に関してだが、荒廃農地を農地転用しようとしても、容易にできないといわれている。その農地転用の窓口があればよいと感じている。適切な相談の窓口を求めたい。

(回答：農林水産部)

農業委員会で事務手続きを行っているが、農地利用最適化推進委員を配置し、地域での相談窓口となっている。委員が事務局に伝え、農業委員会が直接出向いて、適切な事務処置をとっている。農地利用最適化推進委員と事務局職員に対しては、2か月に1度、案件ごとに研修も行っている。

(質問 18：委員)

最適化推進委員はいるが、相談をするとすぐに市の窓口に行くように言われる。それはいかがなものかと感じる。推進委員の認識や知識等が欠けているのではないかと感じている。そうしたことに対する研修等を対策としていれてもらいたい。

(質問 19：委員)

施策 26「住環境の整備」について、市営住宅の建物の改修工事等のことが書かれているが、それを取り巻く地域環境の整備も重要ではないか。環境整備も記載してもらいたい。

(回答：建設部)

市営住宅の老朽化が激しくなっている。この問題については、統廃合を含めて長寿命化計画を策定している。それに基づいて改修している。周辺環境の整備については、周辺の道路、広場も綺麗に整備されているとは言えない状態にある。市だけで行うのではなく、市と住民とが共に周辺環境を良くしていく方策を検討したと考えている。記載については、検討したい。

(質問 20：委員)

施策 27「公園・緑地の充実」についてだが、広場を有する公園については、老人が使用している。近隣の人しか使っていないという印象を受ける。近くに公園のない住民は使えない状況にあると思う。だれもが公園を利用できるような施策が欲しい。

(回答：建設部)

計画案では、建設部が所管する公園について記載している。八代市には大小合わせ約 100 個の公園がある。確かに、地域間で配置が偏っているところがある。公園の配備計画はあるが、市民が平等に利用できる状態とはなっていない。こうしたことに対して、近年は車での移動を想定した大きな公園をつくるということを考えている。ただし事業費、候補地等の問題を検討していかなければならない。

都市計画公園については、一人当たりの公園面積には 10 平米必要となっているが、実際のところ 7 平米となっている。都市計画公園の目標に達していない。できるだけ、等しく遊びに行ける公園を整備しなければならないと考えている。

(質問 21：委員)

施策 30「景観まちづくりの推進と良好な市街地形成」(3) 良好な景観の形成について、ここに記載されている施策については、市民目線、客観的な目線で評価される。動機づけするために、景観に寄与する建物について、市長表彰等の取り組みが必要ではないか。

(回答：建設部)

3年前に景観計画を策定した。この計画では、各景観ごとにどのような景観を造っていくかを提案している。そのなかで、重点地区を設定し、現在取り組んでいるところである。

表彰については、今年度「景観フォトコンテスト」を行っている。市民が良いと感じる日常の風景の写真を送ってもらい、審査して上位となったものを表彰している。こうしたイベントを通じて、表彰しながら、景観に関する理解を深めていきたいと考えている。

(質問 22：委員)

フォトコンテストについては、開催する時期、時間、または取り方等によって異なる。企業や個人が景観に寄与するものを作るためには、市長表彰という制度があってもよいのではないかと考えている。そうした制度があると、競って景観に寄与する建物を建てようとし、結果的に全体の景観が良くなる。こうしたこともあり、表彰制度を設けてもらいたい。

(質問 23：委員)

施策 19「防災・減災対策に資する強靱化の推進」について、女性の地域防災への参画の促進、男女双方の視点での地域防災体制の充実といったことを明記してもらいたい。

(回答：総務企画部)

この点については、国・県の防災計画、市の防災計画でも言及されている。記載する方向で調整したい。

(質問 24：委員)

消防団員数を成果目標としているが、人口減少を考えると、目標の達成は難しいのではないか。また、団員が減少することを前提としているが、それを増やす方向で施策を考えてもよいのではないか。団員も必要であるが、資機材も充実させる必要がある。

(回答：総務企画部)

現状を踏まえた質問である。この点も消防団とも協議したい。

●「基本目標 4」について (p. 129～p. 164)

(質問 25：委員)

確認だが、施策 38「商業の振興」(2) 中心市街地の活性化について、中心市街地の意味するところは、一般に言う地域の中心としてのことを指しているのか、それとも中心市街地活性化法の認定を受けたそれなのか。

(回答：経済文化交流部)

中心市街地活性化法に基づいたものにとらえている。

(質問 26：委員)

そういうことであるならば、鏡など他の地域でも頑張っているところもあるので、フォローをお願いしたい。

災害が発生した場合でも産業活動の停滞をいかに防ぐかが課題となっている。今後産業の振興を進めるなかでは、BCPは重要であり、このBCPに関わる関連部局の連携が重要だと思われる。

(回答：経済文化交流部)

BCPは記載していない。事務局と検討したい。

(質問 27：委員)

施策 35「農業の振興」について要望を述べる。所有の農地が広域化しているなかで、各地域にある農事会組織を広範な地域に一本化してもらいたい。施策の中に入れてもらいたい。

(回答：農林水産部)

集落単位で組織を支援しているが、言うようにまとまった取り組みができなくなっている。集落の広域化、連携をすすめて、マンパワーの集約している。広域化ということについては、表現を検討したい。

(質問 28：委員)

施策 39「地域産業の活性化」の企業誘致について、市の魅力の発信は進めるべきである。誘致に必要な土地、資源、環境等を調査し具体的な提案が出せるよう取組むことが必要だと考える。それを国内外に向けて発信してほしい。人口を減らさないためには、誘致が必要だと思う。

(回答：経済文化部)

企業誘致についてだが、現在工業用地が完売しており、関係部局と連携しながら用地の確保を目指している。港があり、球磨川があるという八代市の魅力は積極的に発信していきたい。

(質問 29：委員)

指標に「農業者総所得」とあるが、これについてはできれば個別所得の指標を出していただきたい。これは農業だけではなく、他の分野でも同じようにしてもらいたい。

また、「持続可能な農業を展開していくため、農業関連団体と行政が「八代市の農業の将来像」について議論する場を創出し、様々な取組について検討・実証を進めます。」とあるが、行政が自ら起業するということまで来ているのではないかと考える。そうした思い切った取り組みはなんなのか、農業や商業の一人当たりの所得を上げるにはどうすればよいのか、具体的に記載してもらいたい。

地域産業の具体的な範囲において、活性化の産業が明確化される書き方をしていただきたい。

(回答：経済文化交流部)

農業者総所得を指標にした理由であるが、1人当たりの所得となると、零細の方から大規模の方の間で大きな差がでてしまう。総所得にしたのは、八代の農業が市の経済にどれだけの影響があるかをみるためである。

二つ目の点であるが、担い手が減少していくなか、集落単位で農業運営できないかを模索している。「人・農地プラン」の実質化を進めている。現状では地域の意見を集約し終えて、今後担い手となった方々が、地域でどのような営農を行っていくのかを考えているところである。

(質問 30：委員)

現状では外国人の移動を陸送に頼っている。これを外港から日奈久港を結ぶ遊覧船の就航により、温泉施設への誘導が有効ではないかと思うがどうか。

(回答：経済文化交流部)

現在ポートセールスとして、船舶会社、旅行会社を誘致し、旅行ツアーを企画している。そして実際に体験してもらっている。ご提案については、好評であれば、今後ツアーに組み込むことを検討したい。

(質問 31：委員)

日奈久温泉には接待する意識がないと思う。地元の意識を変える必要がある。これは、八代全体に言えることだ。

●「基本目標 5」について (p. 165～p. 178)

(質問 32：委員)

アパートやマンションが建ち転入者が増えているが、ごみの出し方が統一されていない。この点をどうかししないと、ごみは減らせないと思われる。

(回答：市民環境部)

不適正な排出が増えている。集積所は、市内に 3000 か所ほどある。ほとんどの所ではルールを守っているが一部では不適正な排出がある。

ごみ問題等検討会を開催し、この件について検討している。条例の改正、監視カメラの設置等を検討している。近いうちに、ある程度の答えを出したい。

(質問 33：委員)

でんでん館を建設したが、厚生会館を取り壊した。新しく作るということも必要だが、守っていくことも大切である。文化活動を行うものにとっては、施設が少なすぎる。高度な設備がある施設、そうでない施設のバランスを考える必要がある。市内だけではなく市外との交流ができる施設が必要ではないか。

(回答：経済文化交流部)

厚生会館については使用停止としている。鏡文化センター、桜十字ホールを有効活用し、文化活動を支援していきたいと考えている。

交流人口の拡大については、観光の分野、産業の分野において取組を進めたい。

(質問 34：委員)

鏡文化ホール、厚生会館ホールのありかた検討委員会が開催されているが、壊したあとに設けられている。順序が逆ではないか。壊すまえに検討するべきではなかったか。あるものを簡単に壊すなど言いたい。

(質問 35：委員)

最後に指標の設定について意見を申し上げる。先に指標について疑義が上がっているので、もう一度精査し直してもらいたい。

(質問 36：委員)

目標を設定するときは、何が最も重要なのかを考えていただきたい。

(了)